

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		下野市子ども通園センターけやき			公表日		令和 7 年 3 月 13 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		法令を遵守した広さを確保しています。療育内容によってそれぞれの部屋を使い分けをしています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		法令が必要とされる人員に加え、1名以上の職員を配置しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			多目的トイレの手洗い場が小さくご不便をおかけしております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		目的に応じて部屋を変えたり、空間を分けるなどして、過ごしやすいよう工夫しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		活動内容に合わせて、フロアや個別の療育室、スヌーズンルーム、運動の部屋等、使用することが可能となっています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員会議やモニタリング会議、夕礼の際、全職員からの意見をすくい上げ、業務改善に努めています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に1回、アンケートを実施し、業務改善に繋げております。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員会議では、全職員から出された意見を基に検討を行い、より良い支援ができるよう努めています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		利用契約書に記載いたしましたが、第三者委員として2名の方と契約をしております。必要に応じて第三者委員会による評価を実施したいと思っております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		毎月第2火曜日は、休業とさせていただき、職員研修を行っております。児童部会では、支援スキルの向上を目指し、また、法人内では虐待、身体拘束、感染症、BCP等の研修を実施致しております。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページ上に2月下旬に公開予定です。また、日々の活動内容につきましては、毎月1回、けやきだよりにて、お知らせしております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		利用開始時に保護者様にご記入いただいたアセスメント表、相談支援専門員作成のサービス等利用計画、保護者様のご意見、ご要望、日頃の利用者様の様子を基に、作成しております。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		日頃の利用者様のご様子からその意向を推測し、職員間で話し合いを重ね、保護者様のご意見を基に児童発達支援計画書を作成しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員間で児童発達支援計画を基に支援内容を確認し、療育にあたっています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表や「KIDS」S-M社会生活能力検査を用いて確認しています。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	児童発達支援ガイドラインに示されています5領域を含む「本人支援」と「家族支援」「移行支援」を、児童発達支援計画に記載しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	心理担当や保育士の意見を取り入れ、全職員で作成しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	月ごとに計画を立て、まんべんなく様々な活動が提供できるよう心がけています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別活動、集団活動での療育を提供しています。個別療育では、主に認知・行動、集団活動では人間関係・社会性、運動・感覚、言語・コミュニケーションの課題を計画の中に盛り込み支援をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援開始前に全職員が参加し、担当利用者様の確認、療育内容、役割分担等について、綿密に打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	その日の療育の反省、二コリホット、ヒヤリハット、情報共有事項の伝達等、夕礼の中で行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	お一人おひとりの日々の記録は、ケース記録として担当した職員が記入しています。その他、支援課日誌、活動日誌等の記録をとり、支援の改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	原則6か月ごとにモニタリングを行い、全職員の意見を基に児童発達支援計画を作成しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	個別療育、集団療育を通して、計画的に提供しています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	余暇活動の際には、自分で選んだ遊びができるよう支援しています。また、言語での表出が難しい利用者様に対しては、「やらない」とジェスチャーサインで意思を表出することができるよう療育を行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	主に、児童発達支援管理責任者と担当職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療との連携はとれていませんが、今後ニーズがあればお医者様のご意見を伺う等の連携を図っていきたくと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	行事予定表や下校時刻表は確認をしております。送迎時の対応等、適宜連絡調整をトラブルに繋がらないよう努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	児童発達支援事業所とは、密に連絡を取り合い情報の共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		昨年度は行いませんでしたが、機会を設けて行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	助言等を受ける機会はありませんでしたが、児童発達支援センター主催の研修会に参加しました。支援スキルの向上に努めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現在はそのような機会は実施しておりませんが、今後、検討していきたくと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	下野市の自立支援協議会委員のメンバーとして協議会に参加しています。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者様がお迎えにいらした際には、その日の療育内容や課題についての報告を必ず行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ペアレントトレーニングは実施できませんでしたが、保護者様がお迎えにいらした際に、家での困りごとや対応方法についてお話をさせていただいています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にお話をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		日頃の利用者様のご様子からその意向を推測し、職員間で話し合いを重ね、保護者様のご意見を基に児童発達支援計画書を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援管理責任者よりご説明をさせていただき、サインを頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎回のお迎えの際に、お家での状況や困り感についてお話を伺うようにしています。必要に応じてアドバイスをさせていただいております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			保護者会は年2回実施（2回目は2月に実施予定）しています。多くの方との交流の場とはなりませんでしたが、今後は参加しやすい日程を設定し多くの方に参加していただけるようにしていきたいと思っております。きょうだい児支援も含め魅力ある会を計画していきたいと思っております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		「虐待防止に関する窓口」「苦情解決窓口」を設置し、対応できるよう体制を整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		けやきだよりを毎月発行し、活動報告、活動予定等をお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		セキュリティ会社により管理された事務所で個人情報の管理及び保護をしています。	
非常時等の対応	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者様とは積極的に会話の機会を設けるよう努めています。言語でのコミュニケーションが難しい利用者様に対しては、絵カードや写真等のコミュニケーションツールを用いて支援しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		そのような機会は実施しておりませんが、今後、検討していきたいと思っております。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは策定してあります。感染症対応訓練、不審者対応訓練等、実施したところです。	保護者様には、今後、けやきだよりを通して周知していきます。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成後それに基づき、炊き出し訓練、避難訓練等、実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時に対応等、伺っており、職員間で情報を共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はありませんが、お一人おひとりのアレルギーの有無を確認しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画、各種マニュアルを整備致しました。安全にお過ごしいただけますよう、日々の安全確認もしっかりと行っていきます。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害時の対応について、利用開始時にお知らせしました。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、事故防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し定期的に委員会を開催し、研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要となった場合、検討委員会を開き、身体拘束の機会を最小限に留めることができるよう努めています。	